

APNIC 56 のコミュニティーディスカッション で議論される 5 つのポリシー提案

APNIC 56 の[オープンポリシーミーティング](#)が 2023 年 9 月 14 日に開催されることになっています。以下が議論される予定の、4 つの新たなポリシー提案および 1 つの継続審議中のポリシー提案の概略です。

[Prop-148](#) : リソースのリース拒否

本提案は、APNIC 地域ではアドレスのリースは許可されないことをポリシー文書に明記するよう提案するものです。

現行の APNIC ポリシーはこれに関して明確な記載をしていませんが、接続サービスの不可欠な部分でない場合、アドレスのリースは認められません。具体的には、アドレスの目的が ISP の顧客に直接接続することではない場合、必要性の正当化は無効です。

[Prop-152](#) : IPv4 割り当てを/23 から/24 に縮小

本提案は、現行のポリシーの下で IPv4 アドレスの割り当ての継続を提案するものですが、現在利用可能なプールの IPv4 アドレス空間が枯渇すると、IPv4 割り当ての最大値は/24 に縮小され、IPv4 が割り当て可能になった時点で「予約済み」空間からのみ新規アカウントホルダーに割り当てられます。

また本提案では、利用可能な予約済み IPv4 アドレスがすべて枯渇した時点で、割り当て希望者のために先着順のウェイティングリストを作成することも提案しています。

本提案に従うと、すでに IPv4 アドレスを受領している APNIC または NIR のアカウントホルダーは、現在利用可能なスペースが枯渇した時点で、APNIC または NIR からこれ以上 IPv4 の委任を受ける資格がなくなることになります。

[Prop-153](#) : PDP の変更案

本提案は、提案の募集、締め切り、コミュニティーとのさらなる議論のために提案者に差し戻された提案の再提出について明確にするため、ポリシー策定プロセス (PDP) のセクション 4、ステップ 1 の変更を提案するものです。

[Prop-154](#) : IXP の IPv4 割り当てのサイズ変更

本提案は、インターネットエクスチェンジポイント (IXP) の IPv4 割り当てのデフォルトサイズを/23 から/26 に変更することを提案するものです。IXP が以前に割り当てられた IPv4 アドレス空間を返す場合は、最大/22 まで置き換えることができます。

[Prop-155](#) : 準会員への IPv6 PI 割り当て

本提案では、アカウントホルダーが今後 12 ヶ月以内にこれらのリソースを使用することを条件に、準会員が、IPv6 割り当ておよび割り当て要求に関する APNIC ガイドラインのセクション 9.1.4 に現在規定されている通り、以前に移譲された IPv4 割り当てがなくても、最小限の正当化基準で IPv6 PI リソースを申請できるようにすることを提案するものです。

その後の割り当ては、申請者の実証された必要性和 APNIC の現行の IPv6 割り当てポリシーの遵守に基づいて評価されます。

本提案は、APNIC 理事会 が APNIC のメンバーシップを更新することを推奨するものです。階層および議決権 セクション 2.2 の変更を提案。

本提案に従うと、IPv6 PI アドレスの割り当ては譲渡不可となります。

ぜひご参加ください! あなたのご意見をどうぞ

優れたポリシーは様々なコミュニティから寄せられる幅広い意見から生まれます。ぜひ、ご意見をお寄せください。ポリシーは、オープンで透明性のある、ボトムアップの話し合いと合意決定を通じて策定されます。

ポリシーSIG の[メーリングリスト](#)を購読したり、[APNIC 56 ポリシーSIG](#) フォーラムに現地参加または遠隔参加して、これらのポリシー提案についてあなたのご意見をお寄せください。